【生育状況】「うた乃」定植後の管理について

農業研究所では二次育苗苗を花芽分化確認後の９月 14 日及び 17 日に定植し、10 月 14 日時点で全て出蕾済みで一部の株では開花が始まりました。

小さな単棟ハウスであるため過剰訪花を防ぐ目的で、開花が揃うまでは受粉用ハエを、10 月末にミツバチを導入する予定です。

また、10 月下旬に栽培ベットのマルチを被覆する予定です。

本圃直接定植苗は７月 23 日及び８月６日に定植し、８月 26 日から窒素中断を行い、花芽分化確認後９月 19 日から液肥施用を再開しました。10 月 14 日時点で７月 23 日定植区では出蕾が揃い、８月６日定植区でも約半数が出蕾しています。

乱形果の発生を抑えるため草丈は 25 ㎝程度までとし、旺盛にしすぎないよう注意してください。サイド換気についても夜温が７℃前後になる頃までは開放したままで、温度管理が高くなりすぎないよう注意してください。温度管理の目安は最低５℃、最高 25℃です。

【参考】農業研究所での 10 月 14 日時点の「うた乃」栽培状況




二次育苗 9/14 定植区




本圃直接定植 7/23 定植区

施肥　：養液土耕６号　給液 EC：約 0.4 mS/cm　排液 EC：約 0.2 mS/cm
給液量：株あたり約 195ml（２分×３回）/日
生育状況
【二次育苗 9/14 定植区】
草丈：20～25cm、葉柄中硝酸イオン濃度:2,960mg/l
【本圃直接定植 7/23 定植区】
草丈：約 20cm　、葉柄中硝酸イオン濃度:　670mg/l